

広域環境保全の取組について

平成25年10月12日

関西広域連合 広域環境保全局



■「関西広域環境保全計画（H24.3月策定）」の概要

1 計画の趣旨

関西における環境分野の広域的課題に対処していくため、目指すべき姿、施策の方向性、取り組むべき施策等を定めた計画であり、この計画を指針として、様々な主体とともに、環境先進地域「関西」を目指す。

2 計画期間

平成24年度から平成28年度（5年間）

3 目指すべき姿

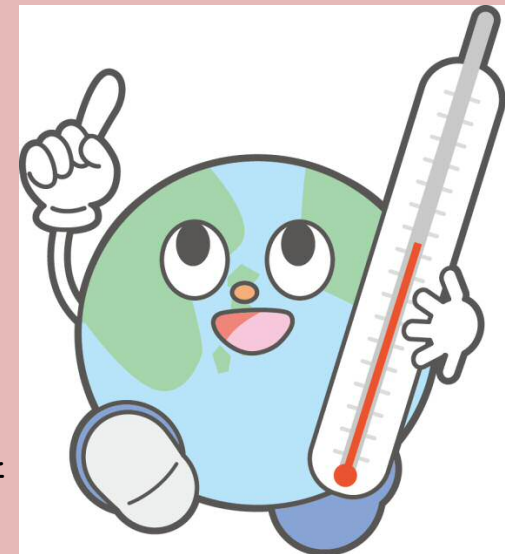
- | | |
|-------|------------------------|
| ◆将来像1 | 暮らしも産業も元気な低炭素社会 |
| ◆将来像2 | 生物多様性の恵みを身近に感じる自然共生型社会 |
| ◆将来像3 | すべてのものを資源と考える循環型社会 |
| ◆将来像4 | 安全・安心で歴史と文化の魅力あるまち |
| ◆将来像5 | 持続可能な社会を担う人材の宝庫 |

地球環境問題に対応し、持続可能な社会を実現する関西

■これまでの主な取組

◆温室効果ガス削減のための広域取組

- 住民・事業者に対する広域的啓発
関西のエコスタイルキャンペーン
関西エコオフィス運動の展開
- 関西スタイルのエコポイント事業の展開
平成24年6月から本格開始
- クレジットの広域活用に係る調査検討
市場ニーズ・活用可能性の調査検討
- 電気自動車の普及に向けた広域的な取組
関西広域充電インフラマップの作成・データ更新
電気自動車写真コンテスト実施



広域的啓発イメージキャラクター

スケールメリットを活かしながら、温室効果ガスの排出削減を図り、環境と経済の両立、くらしや事業活動の低炭素化・省エネルギー化を推進

■これまでの主な取組

◆府県を越えた鳥獣保護管理の取組

広域的に分布・移動して各地で被害を及ぼしている鳥獣については、単独の自治体による対策のみでは十分な効果を上げることが難しい。

- 関西地域カワウ広域保護管理計画の推進

- ・平成25年3月に策定

- カワウのモニタリング調査の実施

- ・生息息動向や被害状況を把握

- カワウ対策の推進

- ・対策検証事業の実施
- ・被害対策事例集の作成

- カワウ以外の鳥獣対策の検討

- ・ニホンジカ等の対策について検討開始



漁業や森林に被害を及ぼすカワウ

広域連合と構成府県市との役割分担を明確にした対策の体制
を強化することにより、効果的な保護管理の取組を推進

■平成25年度の主な取組

H25当初予算の状況

	H25年度	H24年度
1 計画の戦略的推進	【1, 399千円】	【1, 618千円】
2 温室効果ガスの削減のための 広域取組	【5, 085千円】	【5, 088千円】
3 府県を越えた鳥獣保護管理 の取組	【19, 564千円】	【18, 812千円】
4 環境管理費	【410千円】	【410千円】
計	【26, 458千円】	【25, 928千円】

■ 住民・事業者に対する広域的啓発

● 関西のエコスタイルキャンペーン

- ・夏のエコスタイルの呼びかけ(5/1～10/31)

● 関西エコオフィス運動の展開

- ・関西エコオフィス宣言登録 1,512事業所
(平成25年9月末現在)
- ・関西エコオフィス大賞の選定(10月募集開始予定)



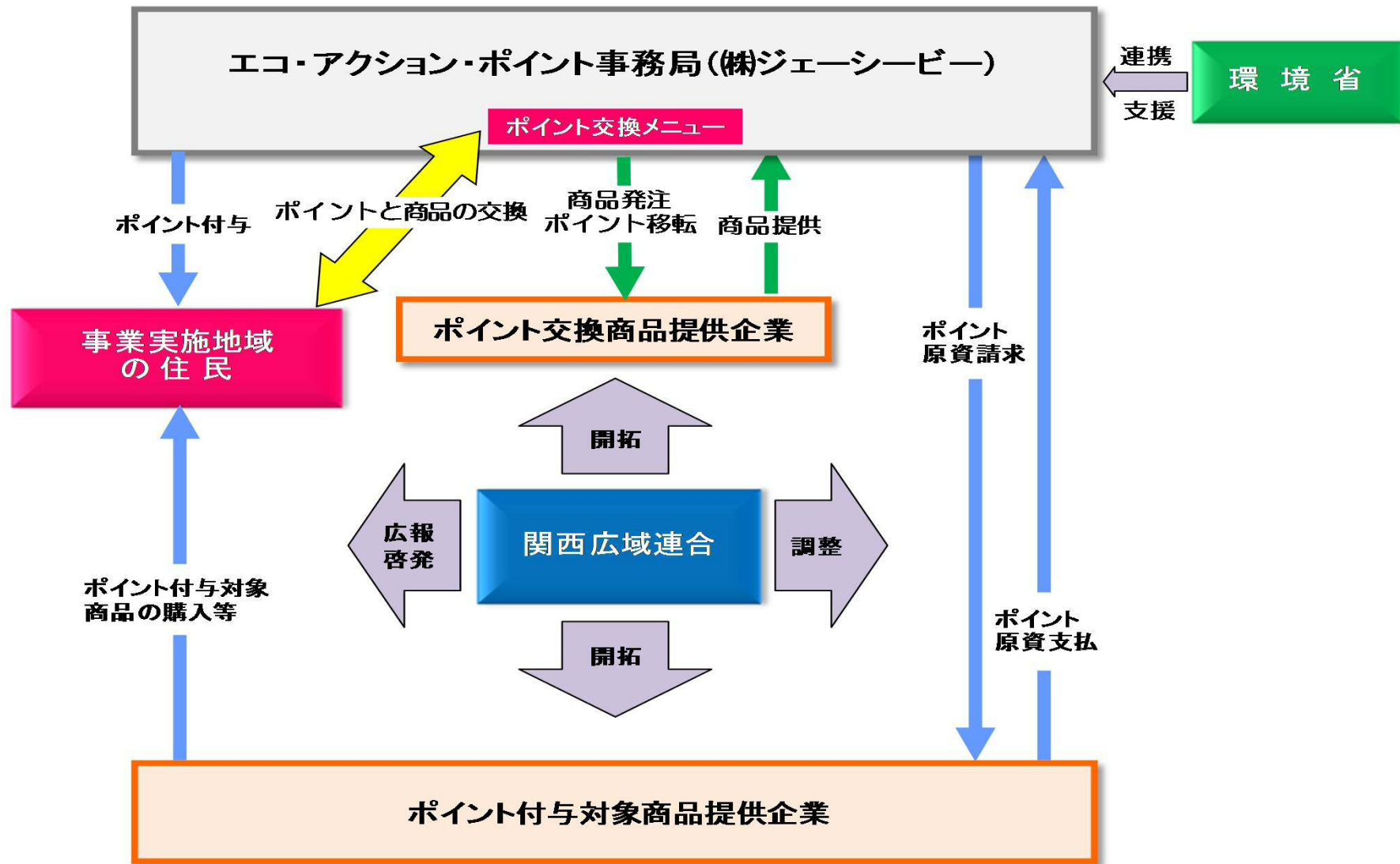
夏のエコスタイルキャンペーンポスター

● 地球温暖化防止活動推進員関西合同研修会の開催

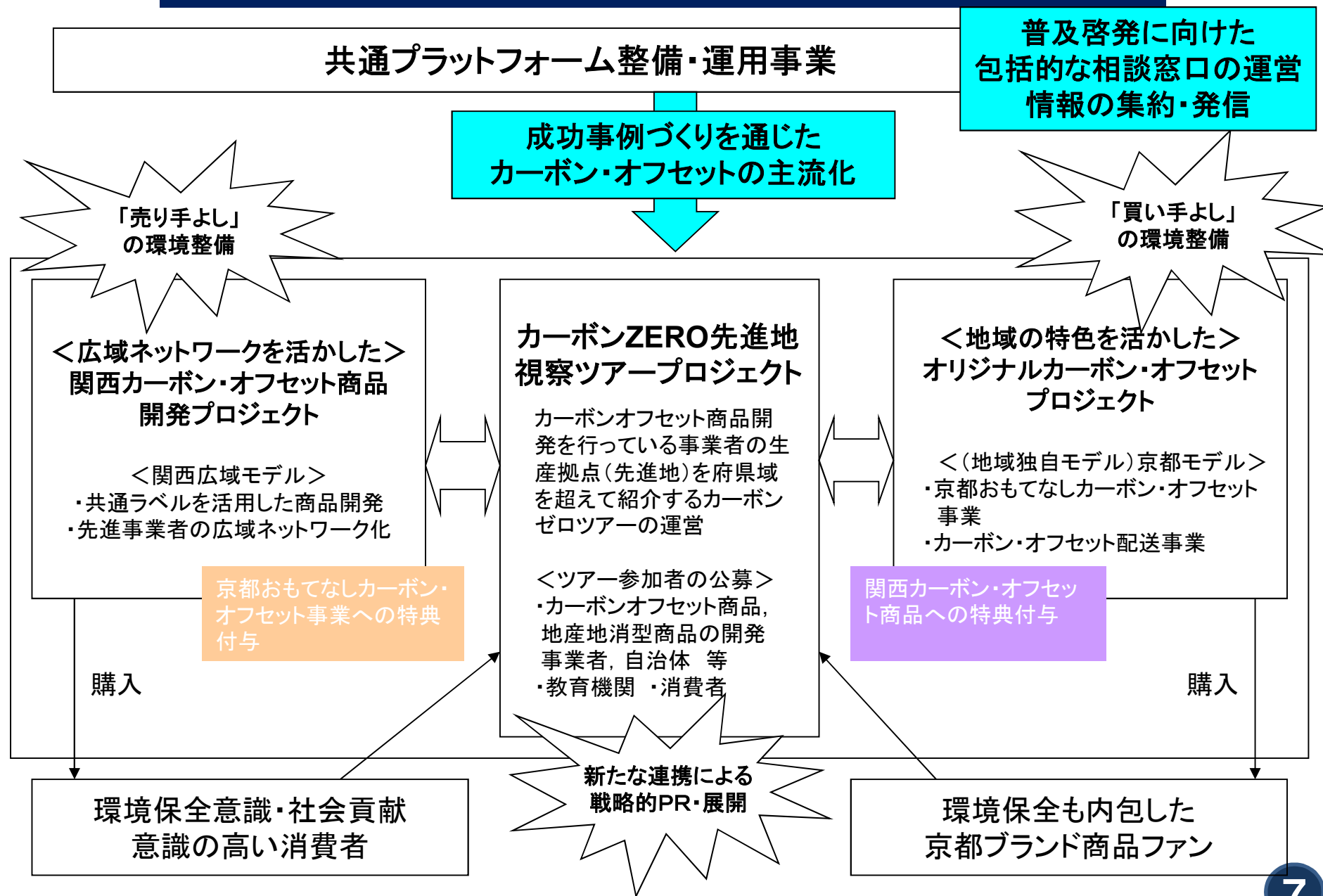
● 新たな温室効果ガス削減の推進取組の検討

- ・各府県地球温暖化防止活動推進センターへのアンケート調査の実施
- ・新たな推進取組についての意見交換会の開催

■ 関西スタイルのエコポイント事業



クレジットの広域活用に係る調査検討



電気自動車普及促進事業

電気自動車の利便性を高めるため、設置場所や利用可能時間など充電施設情報を広域的にマップ化して情報提供するとともに、通信ネットワークの共通化を行います。

また、電気自動車の利用機会の創出を図るため、観光事業との連携により、電気自動車を活用した統一キャンペーンの実施や広域モデルルート の提案を行います。

関西広域充電インフラマップ



●急速充電器及び普通充電器（200Vコンセント）の設置場所や利用可能時間などの充電施設情報を日本ユニシス株式会社の協力を得て以下のサイトで提供しています。

<http://kansai.smartoasis.jp/>

観光連携事業

<EV・PHV写真コンテスト>



●電気自動車を活用した統一キャンペーンとして、電気自動車写真コンテストを実施しています。

■ 広域鳥獣保護管理(カワウ)について

カツオドリ目ウ科

体長：80～85cm
体重：1.5～2.5kg

大量の魚類を捕食
集団でねぐら



カワウは・・・

- ・水産被害・植生被害等の影響を及ぼす
- ・府県の境界を越えて広域を移動

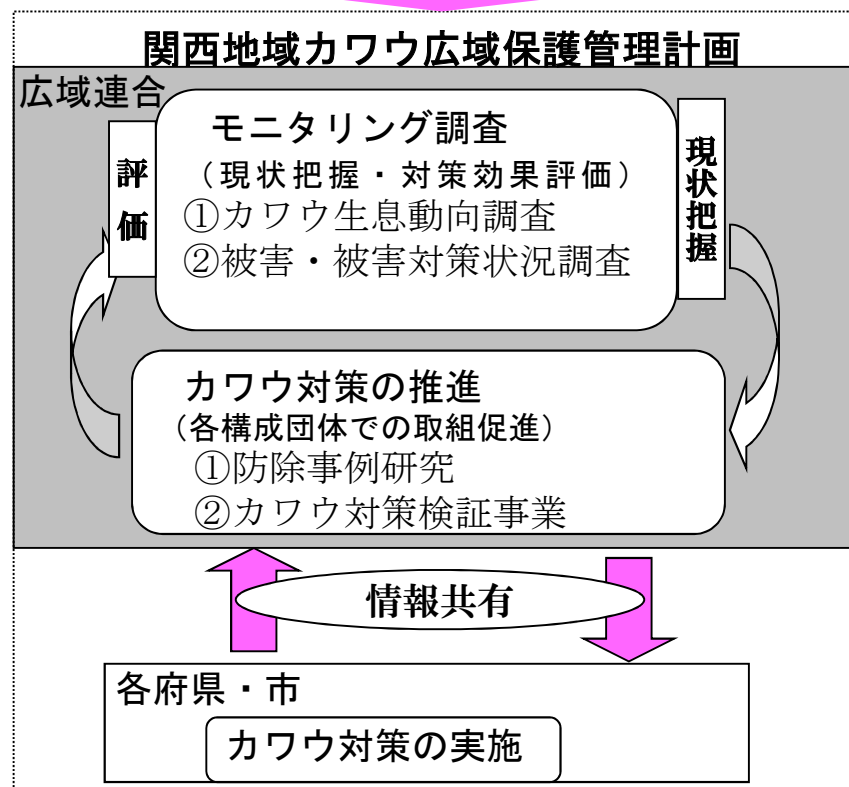
広域的な視点による保護管理が必要



ねぐらから飛び立つカワウと枯死木



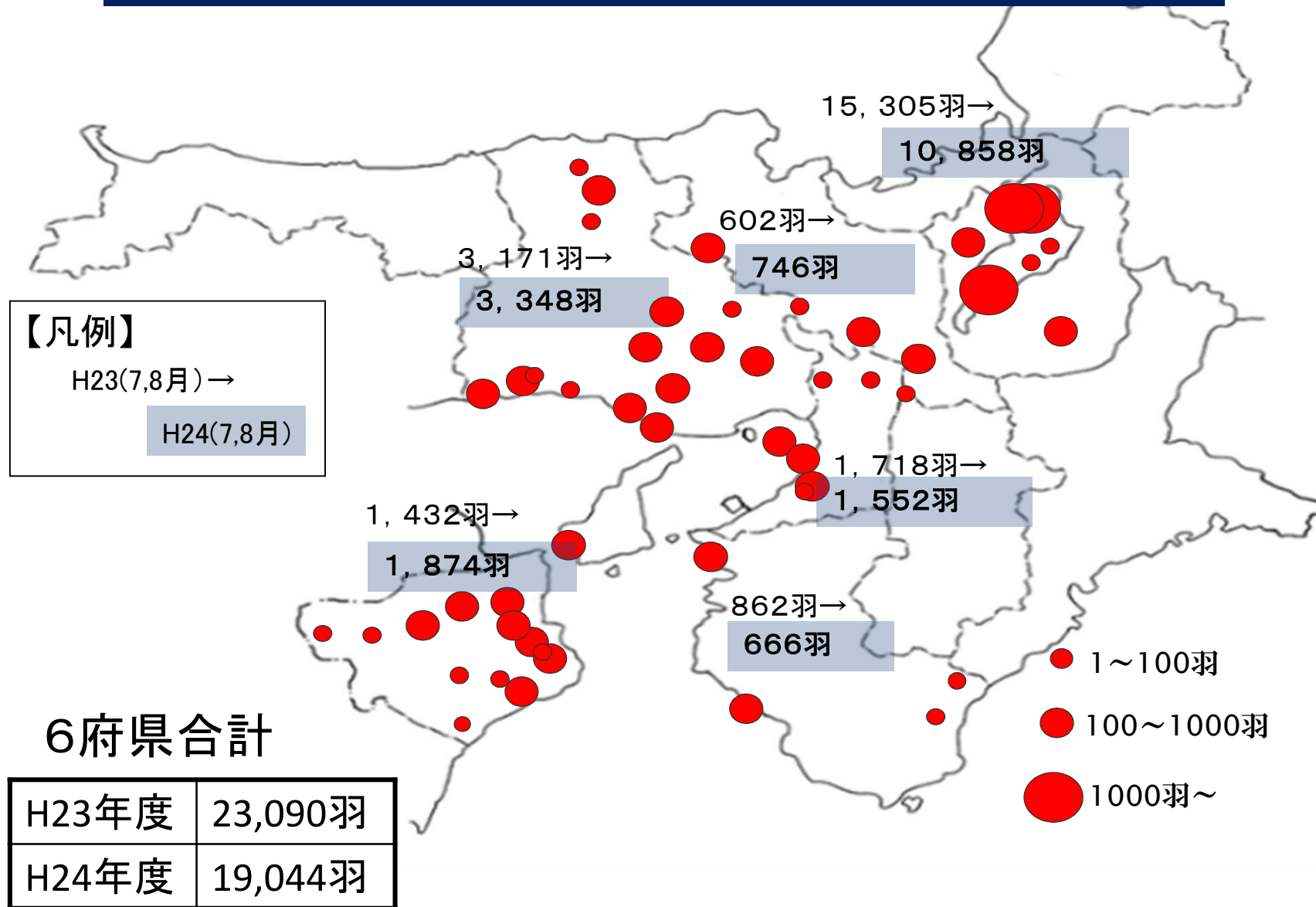
漁場で大群で飛来するカワウ



継続的实施

カワウ被害の軽減

■ 平成24年夏季(7・8月)のカワウ生息数



カワウ対策検証事業

1 数を減らす

- ねぐら等における個体数管理
 - ・銃器を用いた捕獲
 - ・偽卵・ドライアイスによる繁殖抑制



銃器捕獲



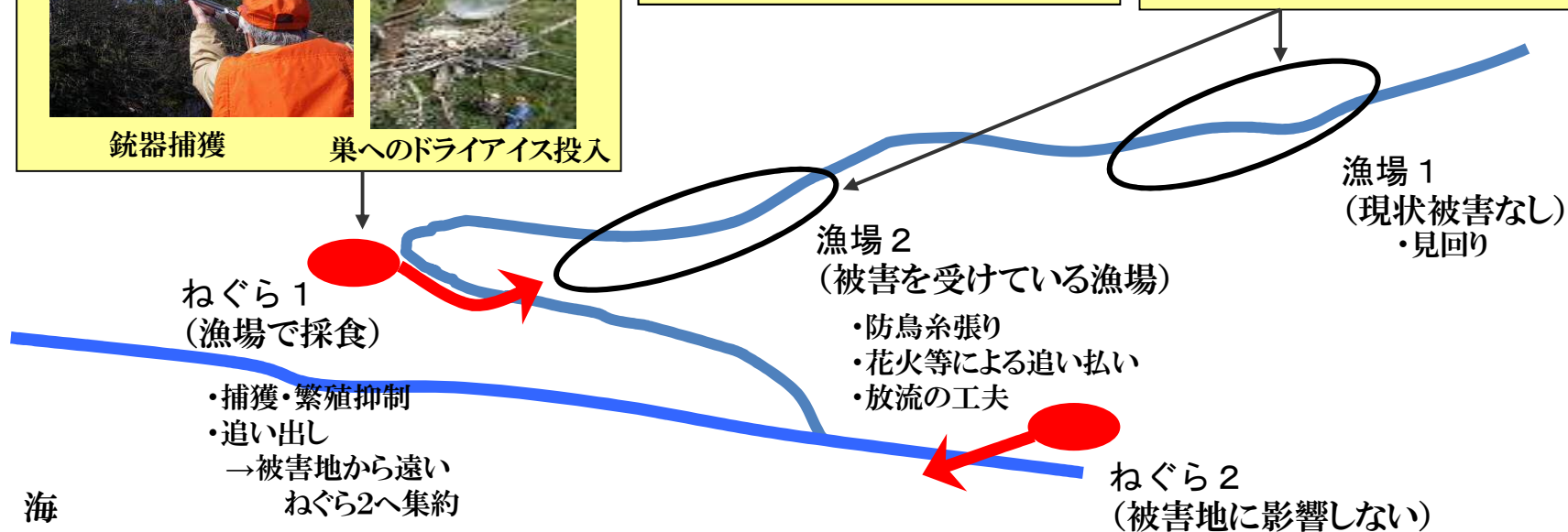
巣へのドライアイス投入

2 遠ざける

- ねぐら等の分布管理
 - ・被害地に近いねぐらの除去・集約
 - ・ねぐらの成立を防止する範囲の見回り

3 来た時に備える

- 被害地における防除の指導支援（積極的な自衛を推進）
 - ・効果的な対策の指導
 - ・対策用備品の購入配布
 - ・放流方法等の提案



広域的視点を取り入れた対策の効果を検証し
各構成団体が実施する対策の効果的な推進を図る

■ 現行広域計画

1 「関西広域環境保全計画」の策定

2 温室効果ガス削減のための広域取組

- ・住民・事業者に対する広域的啓発
- ・関西スタイルのエコポイント事業
- ・クレジットの広域活用の調査検討
- ・電気自動車の普及促進

3 府県を越えた鳥獣保護管理の取組

- ・カワウのモニタリング調査実施
- ・被害防除に関する事例調査研究
- ・カワウ広域保護管理計画策定



■ 次期広域計画原案

1 「関西広域環境保全計画」の推進

2 再生可能エネルギーの拡大と低炭素社会づくりの推進

- ・再生可能エネルギーの導入促進 **新**
- ・低炭素化・省エネルギー化の啓発
- ・関西スタイルのエコポイント事業
- ・カーボン・クレジット広域活用
- ・電気自動車の普及促進

3 自然共生型社会づくりの推進

- ・カワウの保護管理
 - ・広域的なモニタリング調査、モデル的な被害対策
- ・ニホンジカ等の広域的な鳥獣対策の推進 **拡**
- ・生物多様性に関する情報の共有および流域での取組による生態系サービスの維持・向上 **新**

4 循環型社会づくりの推進 **新**

- ・廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用を進めるライフスタイルへの転換

5 環境人材育成の推進 **新**

- ・地域特性を活かした交流型環境学習
- ・年少期の気づきや感動を大切にした環境学習
- ・関西の環境まちづくり事例の発信・交流

